

```
<html>
<head>
<title>パフォーマ検索結果</title>
</head>
<body>
```

使用モジュール パフォーマ検索モジュール

```
<fss:errors error="false">
```

(条件) エラーがない場合の処理を開始 …①-A

```
<p>パフォーマ検索結果</p>
```

```
<fss:sizeof var="hit" value="{performers}"/>
```

前のページ (zExplanation2) の検索条件に一致したパフォーマの人数を「hit」とする

「hit」は任意の半角英数を指定する

```
<fss:if test="{hit}>0">
```

(条件) 前のページの検索条件に一致したパフォーマがいる場合の処理 …②-A

```
<fss:set var="out" value="ひみつ"/>
```

「ひみつ」という文字を「out」とする

「out」は任意の半角英数を指定する

```
<fss:out value="{hit}"/>人ヒットしました。<br><br>
```

前のページの検索条件に一致したパフォーマの人数「hit(任意)」を表示する

```
<fss:forEach items="{performers}" var="val">
```

(ループ) 順番に前のページの検索条件に一致したパフォーマの処理を開始 …③

「val」はこれから処理をする前のページで検索条件に一致したパフォーマを1人ずつ参照する

「val」は任意の半角英数を指定する

```
<p>
```

なまえ :

```
<a href="zExplanation4?performerCode=<fss:out value="{val.code}"/>">
```

```
<fss:out value="{val.name}"/>
```

パフォーマ「val(任意)」の名前を表示する

リンク先にプロフィールページ (zExplanation4) と、

パフォーマを特定するためのパフォーマコードを指定する

```
</a>
```

```
<br>
```

職 業：

```
<fss:if test="\${val.job!=''}">
```

（条件）パフォーマ「val(任意)」の職業が登録されている場合の処理 …④-A

```
<fss:out value="\${val.job}"/>
```

パフォーマ「val(任意)」の職業を表示する

```
</fss:if>
```

④-Aの処理終了

```
<fss:if test="\${val.job==''}">
```

（条件）④-Aの条件の反対の処理（職業が登録されていない場合の処理） …④-B

```
<fss:out value="\${out}"/>
```

「out」を表示する（始めに「out」には「ひみつ」を設定している）

```
</fss:if>
```

④-Bの処理終了

```
<br>
```

年 齢：

```
<fss:if test="\${val.age!=0}">
```

（条件）パフォーマ「val(任意)」の年齢が登録されている場合の処理 …⑤-A

```
<fss:out value="\${val.age}"/>歳
```

パフォーマ「val(任意)」の年齢を表示する

```
</fss:if>
```

⑤-Aの処理終了

```
<fss:if test="\${val.age==0}">
```

（条件）④-Aの条件の反対の処理（年齢が登録されていない場合の処理） …⑤-B

```
<fss:out value="\${out}"/>
```

「out」を表示する

```
</fss:if>
```

⑤-Bの処理終了

```
</p>
```

```
</fss:forEach>
```

③のループ処理終了

前のページの検索条件に一致したパフォーマが複数の場合は③から繰り返し処理が始まる

```
</fss:if>
```

②-Aの処理終了

```
<fss:if test="\${hit<=0}">
```

（条件）②-Aの条件の反対の処理（パフォーマがない場合の処理） …②-B

該当する女の子はいません。

</fss:if>

②-B の処理終了

</fss:errors>

①-A の処理終了

<fss:errors error="true" var="errors">

(条件) ①-A の反対の処理 (エラーがある場合の処理) ...①-B

<fss:forEach var="error" items="{errors}">

(ループ) 順番にエラーの処理を開始 ⑥

「error」はこれから処理をするエラーを1つずつ参照する

「error」は任意の半角英数を指定する

<fss:out value="{error}"/>

エラーの内容を表示する

</fss:forEach>

⑥のループ処理終了

<form action="zExplanation2" method="post">

<input type="submit" value="検索へ戻る">

</form>

</fss:errors>

①-B の処理終了

</body>

</html>